

カーボンニュートラルを実現する、夢のエネルギー源。
環境メガトレンド投資の大本命

ワンポイント One Point 水素

nikko am
Nikko Asset Management

vol.27

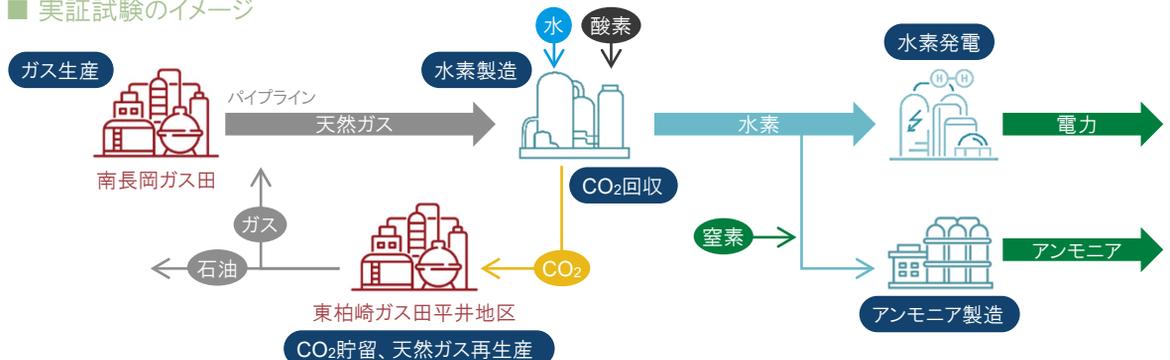
新潟で国内初の実証試験へ 動き出すブルー水素の製造・利用

水素とアンモニアを二酸化炭素(CO₂)ゼロのエネルギー源として利用することにより、環境負荷の軽減を目指す「ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験」が、新潟県の東柏崎ガス田平井地区で進められています。

次世代燃料として期待される水素を年間700トン製造する施設の建設には、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)も助成を予定。本プロジェクトには、県内産の天然ガスが用いられ、製造時に出るCO₂を地下貯留することで、CO₂の排出を実質ゼロとする「ブルー水素」の国内初製造を目指しています。国産ガスからブルー水素を製造し、水素発電やアンモニア製造への利用までを見込むこの国内初の試みは、日本のエネルギー安全保障上も重要な意味を持つとされています。

日本のINPEXが主導する本プロジェクトでは、仏エア・リキード(Air Liquide)の水素製造設備や日揮ホールディングスのアンモニア製造設備が採用されるなど、水素の利用拡大に向けた動きが関連企業にも波及しています。

■ 実証試験のイメージ



※INPEXプレスリリースをもとに日興アセット作成

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。